



すさみ町 議会だより

第117号
2012.2.1



高速道路への取り付け道路として建設中の江住バイパス

も く じ

12月定例会2P

一般質問3P~8P

編集後記8P

発行・和歌山県すさみ町議会 編集・議会広報編集委員会
〒649-2621 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見 TEL0739(55)4808 FAX0739(55)2566

12月定例会

会期 平成23年12月15日～12月22日 (8日間)

諮問案件

平成23年第7回すさみ町議会定例会に提出された案件は、諮問案件1件、条例改正案件3件、平成23年度補正予算案件5件で、いずれも原案のとおり可決・承認しました。なお、一般質問は、7名が登壇し、町長の考えをいただきました。

.....

すさみ町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

(内容) 人権擁護委員の宇井清子氏が任期満了となることに伴い、引き続き同氏を推薦することに、意見が求められたので、適任としました。

条例改正

すさみ町課設置に関する条例の一部を改正する条例について

(内容) 来年度に、地域未来課を新たに設置するため条例改正をするもの。

職員給与に関する条例等の一部を改正する条例について

(内容) 平成23年度人事院勧告による給与表の改正を行うもの。

すさみ町乳幼児医療費支給

補正予算

平成23年度すさみ町一般会計補正予算(第5号)について

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ91,361千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億31,590千円とする。

すさみ町乳幼児医療費支給を現行の6歳までを12歳に引き上げ、「乳幼児」を「子ども」に改めるもの。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ91,361千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億31,590千円とする。

「歳入」

主なもの

国庫支出金	35,484千円
県支出金	7,746千円
財政調整基金繰入金	△56,477千円
繰越金	

諸収入

73,509千円

26,599千円

「歳出」

主なもの

橋梁維持費

10,000千円

財政調整基金費

80,000千円

平成23年度すさみ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ39,292千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億36,243千円とする。

平成23年度すさみ町国保すさみ病院事業会計補正予算(第3号)について

(内容) 主なものとして、薬品費(内服薬・外用薬)で12,000千円。血液検査委託料3,600千円の補正をするもの。

平成23年度すさみ町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ14,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億47,161千円とする。

平成23年度すさみ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ696千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億37,136千円とする。



町政のここがききたい!

一般質問

掲載した内容は、議員が質問と答弁をまとめたものです。

津波対策について



高尾 通雄

問 庁舎の移転は新しいので無理かと思いますが、重要書類等、どの様にして災害から守るのか。次に消防署、病院、保育所の移転についてどの様に考えているのか。

答弁 町長 公共施設、庁舎、重要書類についてであります。役場周辺が津波浸水区域になっています。役場庁舎周辺の施設は1メートル程度の低い想定です。ご指摘の重要書類の保管ですが、最重要戸籍関係書類は1階住民生活課の耐火災庫で厳重に保管、しかし耐水性能はありませんので津波の浸水により滅失することも考えられます。現在、浸水対策として、重要な戸籍等のデータは、日々複写して防水ケースで保管しています。具体的な対策として重要書類の複写データを作成

し通常業務に活用し原本は安全な場所に保管することも考えています。消防署、病院等災害拠点として重要な施設や、保育所等の避難所、課題のある施設をより安全な場所に移転する事も検討しているところであり、今後示される新たな津波浸水想定を考慮しながら安全な施設場所を選定して施設の移転を計画的に進めていきたいと考えています。

問 消防署が災害時1番の拠点となる。施設を移転出来ないか。

答弁 町長 恒久的消防施設についても、その地区を含め町内に適切な場所をさがしてみたいと思う。

問 病院は相当以前から建て替えという話が出ていますのでこの際、津波の心配のある時に、これが、又自然として何年か経てば災害も忘れ去られていく事になるから、予算付けも難しくなると思うので、いま想定に入れ、予算を付け住民の方にも納得して頂けると思っているので早急に見直しは如何か。

答弁 町長 今のご提案を

真摯に受け止めて病院についても検討させて頂きたいと思っています。

問 保育所について、どの様な状況にあっても、安全で安心が出来る様に行政として、責任が持てる方向でしてもらいたい。

答弁 町長 先程から公共施設の移転のご提案を頂いた中、私個人としては保育所を1番最初という思いがあります。

交通手段の見直しについて

問 スクールバス、周参見、大附、佐本線の時刻変更について

答弁 教育長 三便については周参見駅到着の普通、特急電車を待つて、平成24年1月1日より、周参見駅発5時50分となります。



耐震工事中のすさみ消防署

山間地域の防災対策
について



大竹 繁和

問 すさみ町には、太間川・小河内・大附・佐本・大鎌と山間地域に集落があります。集落の中には、高齢者、一人暮らしの人達が多く、地区に通ずる道が大変狭いところが多くあり震災や台風等の場合には、大災害の発生する恐れがあるが、山間地域の防災対策をどのように考えているのか。

答弁 町長 山間地域の具体的な防災対策としては、各地域で必要とされる物資、機材の配備を検討し、孤立対策として、ヘリポートの整備や発電機、照明器具、食糧の備蓄等、各地域の要望におこたえできるように前向きに検討する。

鳥獣害対策について

問 農家が最近減少傾向にありこの原因は、人口の減少、高齢化が大きな理由だと思いがもう一つには、鳥獣被害にも原因があると考えます。今

後の対策をどう考えているのか。
答弁 町長 年々増加する鳥獣被害対策として町は、国・県の被害対策事業を活用し鳥獣被害による農業従事者の生産活動の意欲を失わさないように努める。

高速道路の江住インターチェンジの将来展望について

問 町長は、6月議会の中で、江住地区の再生に向けた施策に取り組みたいと表明されましたが、具体的な考えがあるのか。私の考えですが、2点ほど模索してみました。

①すさみの消防署は、大変津波に弱い低地に位置しています。江住のバイパス沿いの土地に、大切な機器や資材を保管しておけないだろうか。
②江住のバイパスと国道42号線の交差点の前に江住中学校の旧校舎がある。その旧校舎を利用して、町営の道の駅のようなものをつくり、江須之川の童謡公園、エビ・カニ水族館を活用して集客を図り、

農協・漁協の協力を得てすさみの農産物、海産物の販売ができないか。そうすることににより農業、漁業の活性化が図られ、雇用の場ができ、江住

沈滞化する地域経済について



上田 順太

問 沈滞化する地域経済についてこれまでも機会あるごとに同様の質問をしてきました。しかしながら、町長の発言からは現状が相当な危機状況にあるということが伝わってきてません。農業をはじめとして一次産業だけでなく、すべての業種はどれも衰退し厳しい状況です。

現状に対して、変化させていくことが難しいことであるのは承知しています。新たなものを作っていくことは重要ですが、今あるものを活用しながら発展させていくことはより現実的であるだけでなく、すでに培ってきた土壌があります。

これらのことを踏まえて、本当にこの沈下した状況を実感しておられるのか、その覚悟を聞かせて下さい。

答弁 町長 職員や各種団

体のみなさんからご意見を賜り、十分現状を認識しています。今後問題意識を共有しながら具体的に取り組んでいきます。

幾つかの意見がありました。エビとカニの水族館については、田辺市の行方を踏まえ、再度庁内で協議をします。農業・漁業については、ピーク時に比べ5分の1程度まで売り上げ、水揚げともに激減しています。漁業については、若い後継者も数人でできてきました。漁協の船主の方々には観光行政にもご理解いただいています。従来の水産活動をより発展させていく必要から検討したいと思えます。

すさみ町の活性化については、単独で取り組むのではなく、それぞれの自治体のいいところを生かしながら田辺市を中心に紀南エリアを共同で活性化していくと町村会でも提案しています。

他に、町長から考えがあるのならもつと積極的に発言をして下さい。という意見がありました。今後は自信を持って発言させていただきます。

※ 町内、児童生徒の学力についても教育長に質問しました。

構想について



川嶋 英治

問 第1に、すさみ町の将来、町民の将来についての構想はどうか。第2に、地域活性化の具体的な案の策定、実行についての進行状況はどうか。第3に、町長報酬、議員報酬について、9月議会の答弁と同じく削減の意向はないか。

答弁 町長 将来の町づくりに関する私の構想は、第4次長期総合計画に示している。地域活性化については、最も重要な課題である。すさみ町単独での対策の他に、田辺市を中心とした広域的な取り組みができる行政体制を整える2015年予定の高速道路整備までに地域活性化を含めた町づくりの年次計画を作成する。今議会提案の「地域未来課」は将来の町づくり専

属に対応する。町長給与の削減については、9月議会の答弁と同じである。

問 将来の構想について、今現在、町をこうしたいという町長の考えはどうか。方向性、何を一番先にするかが、町民にはよくわからないという声がある。

答弁 町長 今住んでいる人を大事にしたいということ。また、広域行政をするということを構想の最初に書いているが、これが今まさに私に思っていることと合致している。また色々な会合でも町長としての考えを発信している。

問 町民の皆さんと対話した中で、皆さんが町長の考えはよくわかったと言っているのか。

答弁 町長 具体的な討論会ではなく、挨拶の中で自分の考えを述べている。私の考えの基礎は「広報すさみ」に記載されている。

地域活性化について

問 町長の公約に掲げた地域活性化、具体的な政策実行について進行状況を教えてください。

答弁 町長 子育て支援については乳幼児医療の補助、通学に対する補助、新しい課を作ることを今議会に提案している。議会のテレビ放映は、今議会で審議をしている。

問 現在の町の防災計画の取り組み状況はどうか。串本町は高度計を3台ほど購入しているそうだが、すさみ町はどうか。購入できるなら地域防災の一端として使えると思う。

答弁 町長 防災対策は、予算的には当初150万、9月議会で400万の補正、計550万で対応している。単体で金額の大きいものについては、県の補助金で対応している。来年度は、町単独では1,300万、県への要望は900万から1,000万を要望していく。ソフト面では転倒防止、防災対策の懇談会、自主防災組織の結成のお願いをしている。

つづめ問題について

問 すさみ町内の小中学校のいじめの実態はどうか。

め状況はないが、集団生活の中でのいさかい、無視された、悪口を言われた、といった心の苦痛を訴える生徒指導上の事案は起きている。

保険・衛生について



竹本 直美

主体となつて実施しなければならぬと思います。

問 介護保険が利用できる人への支援事業を、町として出来ないか。

答弁 町長 地域にあった対策ができるのではないかと、今も住民生活課で元気な老人対策について検討しています。

問 介護保険の見直しに関連して、すさみ町の場合、平成24年度の介護保険法の改正で第5期介護保険事業計画への影響はどうか。保険料、介護サービス、支援事業、介護施設などについて町長の考えを。

答弁 町長 介護保険料が最も影響があると思うが、すさみ町介護事業計画策定委員会において2月に策定され、答申される予定です。町は、介護予防に重点を置き、日常生活支援、権利擁護、社会参加、認知症対策等を今以上に

問 町単独の病気予防へのワクチンの接種、また、妊産婦健診への助成など検診の状況を。また、24年度も引き続き助成できないか。

答弁 町長 妊産婦検診は、県、町費でほぼ全額公費負担で、BCG・ポリオ・日本脳炎・三種混合・二種混合・ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん等、無料で実施しています。町単独で、乳幼児から小中学生までインフルエンザワクチン、75歳以上の方に肺炎

球菌ワクチン接種も無料で実施。来年度以降も継続していきたいと考えます。

環境・整備について

問 すさみ町全体のバリアフリーの現状（到達）、また課題と対策は。

答弁 町長 役場関係の公共機関はほぼ完了しています。

問 手押し車、電動カー、また、通学路への対策は十分か。また、前回質問のベンチの設置についてはどうか。

答弁 町長 路面状況や、道路幅員が十分確保できていないのが現状です。安全を確保することは行政としての責務と考えております。今後とも積極的に取り組みます。ベンチの設置は実施に向けて考えて行きたい。

いただける方法をとっていきたいと思います。

問 周参見駅の跨線橋の屋根設置についても要望があるが。

答弁 町長 跨線橋を使わなくても良い方法をJRへお願いしています。実現に努力します。

問 戸別受信機について、町内放送が聞こえにくいと言う声、また、防災の点でも改善が急がれる。みなべ町で取り組まれている防災ラジオは、すさみ町にも対応できないか。

答弁 町長 当町でもデジタル化までのつなぎとして、防災ラジオの併用を検討していきたい。
※ 他に獣害対策についても質問しました。

公共施設の駐車場について



向井 仁

問 若者ひろば、町役場周辺の駐車場が充分でない中で、私有地など買い上げるなどして増設してはいかがですか。

答弁 町長 若者ひろばでの町民運動会などで、その必要性があるときは周参見中グラウンドを使用できるように、またイベントなどで町役場駐車場が不足するときは周参見小の校庭を利用して対応しています。積極的に私有地を買ってまでは今のところ考えていません。

防災について

問 東日本大震災のあと、町民の方々の防災意識は高まっています。中央防災会

議がいわゆる被害想定の見直し、政府による防災計画の修正を行う予定だが、それを受けすさみ町としてどういった防災計画を立てていきますか。

答弁 町長 県内沿岸部の津波浸水被害想定は修正は平成24年度末から25年度になる見込み。被害想定は修正がなされれば当町の津波避難計画も見直すこととなります。

問 修正されるのが1年2年かかるのであれば、いっそのことすさみ町防災会議みたいなものを設置して、町として行政が主導していくほうがよいかと思えますが。

答弁 町長 組織をつくるにしても、検討するにしても、まず基礎資料が必要であると考えます。この取り組みは、今途上にあると考えています。自主防災組織を立ち上げて、今までの津波・地震に対する考え方を改めていただくことなどが、まず第一ではないかと考えています。

問 緊急避難時に必要な物資のなかで、命をつなぐ水・飲料水が大切だと思いますが。

田辺市及び周辺町議会議員研修会

10月31日 田辺市及び周辺町議会議員研修会がみなべ町「紀州南部ロイヤルホテル」で開催され、議員9名が参加しました。

研修内容は、防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏から「巨大地震で問われた自治体の防災・危機管理」というテーマで講演いただきました。



【答弁】 町長 現在、水の備蓄はしていないので検討したいと思います。

【問】 津波避難タワーについて、今後も使えそうですか。

【答弁】 町長 想定の見直しによってタワーをどうするかということが今後の課題になると思う。また、塔としてではなく別なものとして使える可能性もあるのではないかと検討中です。

すさみ病院の入院食について

【問】 大地震大津波による福島第一原発の事故以来、食品への放射線の影響が出ています。入院食は大丈夫か、放射能汚染された食材が使用されていませんか。

【答弁】 町長 国内の流通食品については、国が放射線量の規定値を設定して安全性を確保しているため、病院の給食材料についても安全であると考えています。

学校給食について

【問】 学校給食に使われている材料は放射能汚染の心配はないですか。

【答弁】 教育長 食材の多くは地元のもの県内産であり、その他についても安全性の確認されたものが使用されています。給食の材料は安全であると考えています。

副町長人事について



堀谷 伸二

【問】 町長就任以来、約8カ月が過ぎ、副町長不在も約半年が経過しています。町長を見ていますと多忙を極めている様子が随所に見受けられます。職務を遂行するに当たり、支障を来す事があつてはならないと考えます。今後、行財政改革を推進するにも、町長

のマネジメントを実行するにも行政に精通した人材が必要だと思えますが副町長についてどのように考えているのか。

【答弁】 町長 町内の各々からいろいろご提案を頂いているところですが、いましばらくの間、現体制で行政運営を行って行きたいと思えます。町民の皆さん方にご迷惑をかけることのないよう役場職員ともども頑張つてまいり所存でありますのでご理解を頂きたいと思えます。

【問】 しばらく現体制で行くとすると条例の改正も必要になるのでは。それと人選に難航が予想されるのであれば、一般公募であったり県職員への派遣を要請するなり柔軟に対応してはいかがか。

【答弁】 町長 置く用意をしておけば、条例違反にならないと思えます。もし置く場合、公募とか県職員を知事に派遣をしていたらどうかという様な事も県内でも何か町村があるようですので、その節には皆さんにご相談をさせていただきます。

地域振興対策について

【問】 活力ある町づくりに意欲的に取り組むために、地域資源を生かした活性化策はあるのか、雇用は当然のことであるが、人的資源の育成を図っているのか、その為の施設づくりを設置する考えはあるのか。

【答弁】 町長 現在、町内で稼働しています企業の育成や新たな町内での起業に対して応援していくとともに、高速道路南進に向け、すさみ町から通勤可能な地域への企業誘致など広域での取り組みに力を入れてまいりたい。

【問】 県の過疎集落支援に佐本・大都河地区が指定され地域活性化に取り組むのは本当に喜ばしいことだと思うが、佐本・大都河以外の地域は町が集落支援対策を持って取り組む考えは。

【答弁】 町長 町おこし、地域おこしに民間の方々のお知恵を拝借したり、参加して頂く、そのような体制を作っていく。



和歌山県町村議会委員長研修会

11月22日 和歌山県町村議会委員長研修会が和歌山市「自治会館」で開催され、正副議長、各委員長の4名が参加しました。研修内容は、財団法人東京市政調査会研究担当常務理事の新藤壮幸氏から「2012年度自治体財政の行方」というテーマで講演いただきました。

問 獣害で捕獲した、鹿・猪等を解体する処理施設が紀南にも必要という話があるが、町に誘致する考えは。

答弁 町長 県の直轄か補助事業になるのかわかりませんが、もう少し調査をして、町として受け入れる土壌ができたら積極的に検討してもいいのではないかと思います。イノブタの解体も含め、鹿・猪の商品化もできるのではないかと思います。思い調査をしてみたいと思います。



第10回議長杯 ゲートボール大会

第10回議長杯ゲートボール大会が、平成23年11月7日、神田ゲートボール場で開催されました。当日は、天候にも恵まれ、各チームとも日頃の練習成果を発揮するとともに、プレーを楽しみながら、親睦を図りました。



結果

- 優勝 江住Bチーム
- 2位 一球チーム
- 3位 江住Aチーム



編集後記

寒中お見舞い申し上げます。昨年、相次ぐ台風の襲来と東北地方を襲った大地震が起こり多くの犠牲者と今なお確認のできない行方不明者が多くいるなど、まさに天変地異の一年でありました。が、今年は無事な年であることを祈るばかりです。

暦の上では2月4日が

立春、まもなく梅も咲いて一進一退を繰り返しながら暖かくなっていきます。

台風被害の復旧も随所で着々と進み、懸案の沼田谷橋の入札も行われ不便解消にむけて取り組んでいます。

皆様には、何かと大変な日々が続きますが、やがて来る暖かい春を気持ち良く迎えられる様に、くれぐれも健康にご留意の上、ご活躍されますようにお祈りいたします。

